

# 2020年度 JAMAシート刷新に関する説明会

2018年 11月 6日(火) 14:00-16:00 東京 牛込筆筒区民ホール  
9日(金) // 名古屋 電気文化会館イベントホール

主催： 一般社団法人 日本自動車部品工業会

説明： 環境対応委員会 製品環境部会 物質調査システム分科会

# 内容

お願い事項など	5分
1. 2020年度ツール刷新の背景、維持運営と ツール機能の説明	45
質疑応答	20
2. 物質調査ツールの活用に関する参考解説	30
質疑応答	20

1. 2020年度ツール刷新の背景、  
維持運営とツール機能の説明

# まず、刷新の概要について 説明致します

# 1) 背景・目的

## (1) 日本の自動車OEMの事情

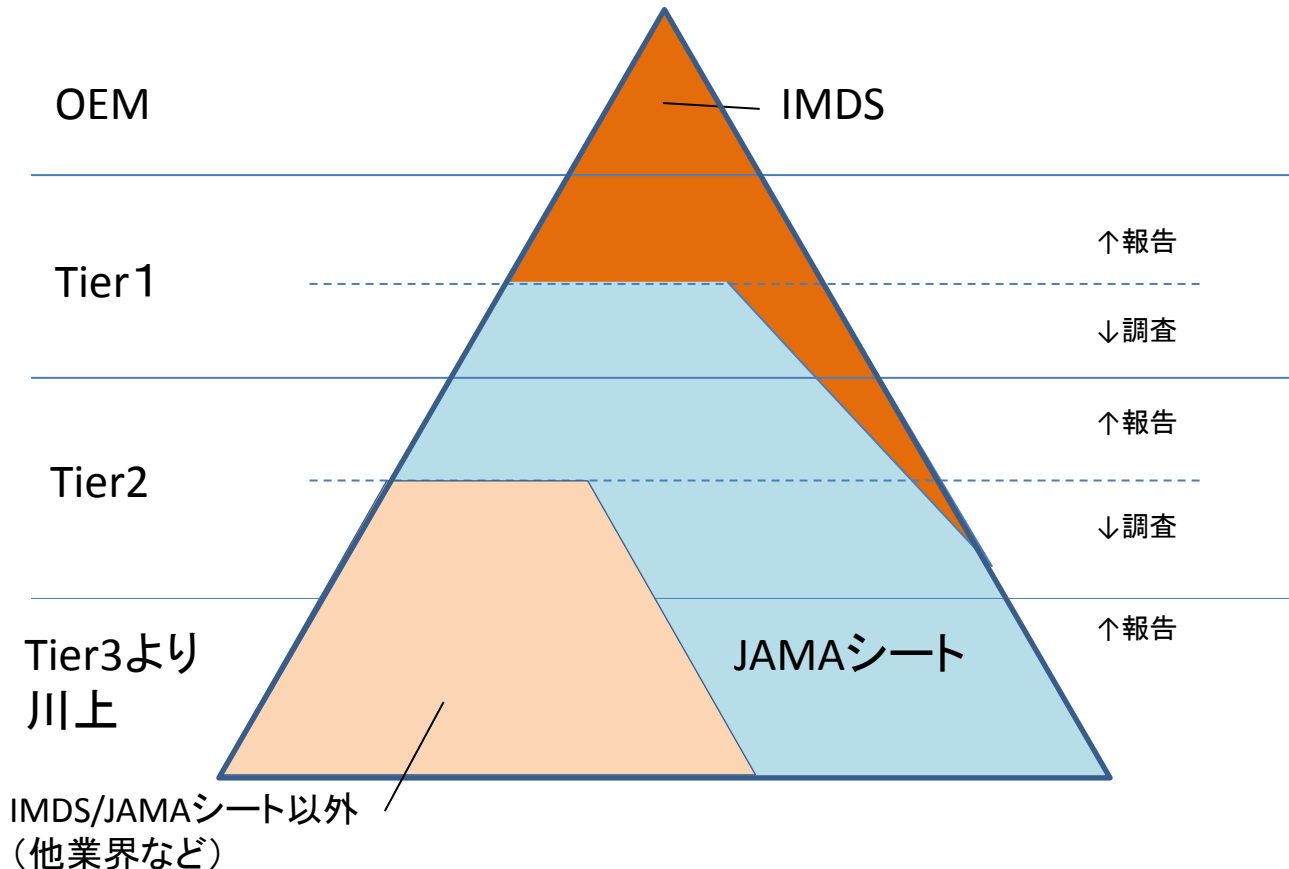
IMDSの運営主体 (IMDS-SC) から日本の自動車OEMに対し、  
**「いつまでJAMAシートを使用するのか」**という問いかけ



- ・ **自動車OEMとしてのJAMAシート利用は2020年3月末までとする**  
(IMDSに一本化)
- ・ 但し、部工会主体でのシート使用は妨げない

# 1) 背景・目的

## (2) 日本の自動車サプライチェーンの事情



JAMAシートの物質調査機能は完成されており、日本の自動車サプライチェーンでは**JAMAシートを使った物質調査が定着している**

# 1) 背景・目的

## (3) 部工会の対応

- ・ サプライチェーンでの物質調査が混乱しない様に、  
今後もJAMAシートの物質調査機能と、調査運用統一を  
**JAMAシート後継シート**(仮称)として維持していく
- ・ 引き続き、物質調査ツールは、IMDSあるいは後継シートを使用

## 2) 維持運営主体の変更

JAMAシートは、自動車業界だけでなく、  
**建設機械・産業車両・農業機械のサプライチェーンにも定着しており、**  
**これらの業界と協力して維持運営していく**

	現 在	2020年4月1日 以降
	JAMAシート (JAMA/JAPIA統一データシート)	JAMAシート後継シート (仮称)
費用負担	自工会、建機工	部工会、 建設機械・産業車両・農業機械の 団体および 最終製品を製造する <b>利用企業</b> (詳細調整中)
調査運用の調整	部工会、自工会	
機能・データ・ 資料の改正	部工会	



### 3) スケジュール

	2018 年度				2019				2020				2021			
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
JAMAシート	★Ver.2.51				☆Ver.3.01				☆Ver.3.02				(2020年GADSL・SVHCのみ反映)			
	★Ver.3.00				3/30★外部リストのみ差替				11/30終了							
JAMAシート 後継シート (仮称)	★本説明会				☆移行説明会				☆初版				10/1★改版			
	仕様公開☆															

**サプライチェーンに物質調査の障害を生じさせないための  
移行準備期間**

## 4)ここまでのまとめ

現在の**JAMAシート**は、**名称と維持運営主体を変えるが、**

**2020年度以降も継続して利用可能**

(過去に作成したデータも、そのまま利用可能) ⇒「5)」～で説明

次に、ツール機能について  
システムの的な変更点を  
説明致します

## 5) ツールの概要

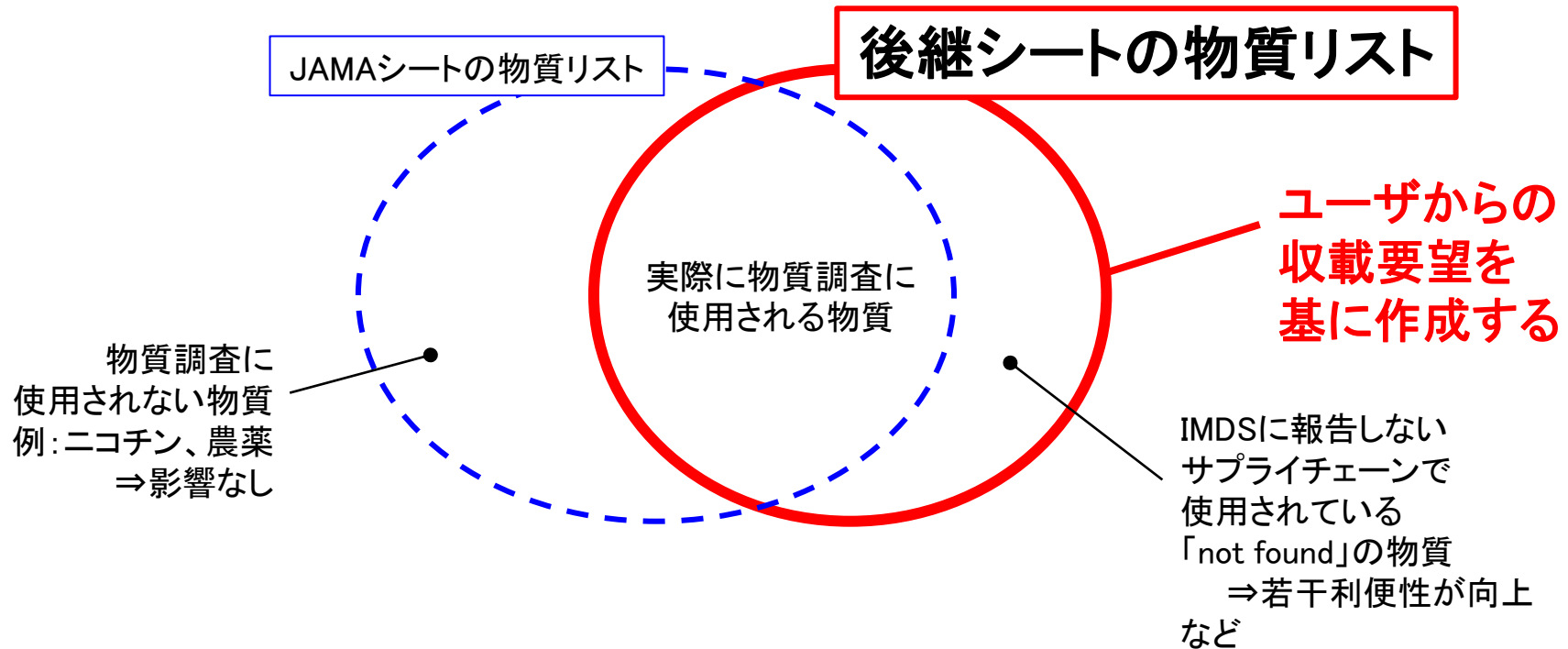
### (1) 基本的な考え方

- ① JAMAシートの上位互換性を維持する
- ② **新たな物質リスト**(次頁)を使用する
- ③ 以下を除いて、原則、**今後新たな機能変更は行わない**
  - ・WindowsやMS-Office のバージョンアップ対応
  - ・新規の化学物質規制成立に伴う機能対応

## 5) ツールの概要

### 物質リストとは

JAMAシートやJAMAシート後継シートで、  
選択入力可能な物質のリスト



## 5) ツールの概要

### (2) 変更点1: 物質リストの変更と、それに伴う機能の変更

① 現状の「**化合物Node-ID**」は「**物質ID**」と呼び名を変更し、**新たな採番**とする

**イメージ** 化合物Node-ID: 2345678 ⇒ 物質ID: S10010...独自採番

② **ワイルドカード物質**(misc.など)は、次の様に変更する

**イメージ** 化合物コード: system ⇒ -

化合物Node-ID: 9999 ⇒ 物質ID: W00010...独自採番

③ **自動変換機能**を設け、エラーチェック初回の先頭で上記①②の  
**過去データを一括置換**する

## 5) ツールの概要

### (3) 変更点2: IMDS用XMLファイル出力機能の廃止

IMDSとの関わりを無くすため、本機能を廃止する

## 6) 対応準備のお願い

① 前記物質リストの変更に伴う、**社内システム・ツール・業務手順の対応**を  
**ご検討ください**

- ・JAMAシート後継シートの仕様の詳細は、2019年秋頃  
JAPIAサイトに公開する予定です

- ・JAMAシート後継シート物質リストは、JAPIA会員の社内利用に対しては  
覚書きを交わしていただき、無償開示する予定です

② JAMAシートのIMDS用**XMLファイル出力機能**をお使いで、  
**情報提供を希望される会社**は、JAPIA事務局まで**ご一報ください**



## 7) お問い合わせ先

**JAPIA事務局 技術部** [jamashet@japia.or.jp](mailto:jamashet@japia.or.jp)

(回答にお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください)

## 2. 物質調査ツールの 活用に関する参考解説

2-1. 後継シートとJAMAシートの違い

2-2. 後継シートへの移行に伴う変化点

2-3. 物質調査ツールに関する注意点

(参考) 後継シートとIMDSの違い

## 2-1. 後継シートとJAMAシートの違い

【重要】 化合物IDの番号体系が変わります  
これによって業務を見直さなければならない部分があります

### (1) 化合物IDの変化

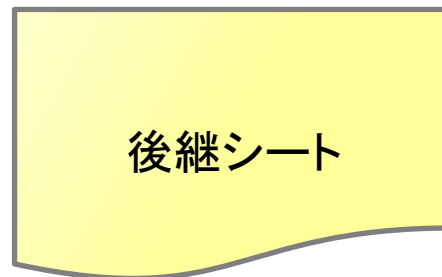
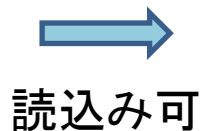
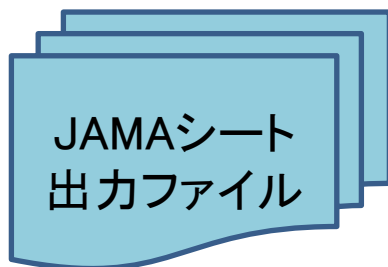
	化合物ID	ユーザへの影響			
		CSVで保管した過去データの対応	社内システムで保管した過去データの対応	IMDSへの直接入力	IMDSへのアップロード
変化前 JAMAシート	IMDSと同一ID 数字のみ	—	—	IMDSのID 不使用	IMDSのID 使用
変化後 後継シート	<b>IMDSのIDは不使用 英1字+数字</b>	影響なし 上位互換性あり	<b>影響あり</b>	影響なし 従来と同じ方法	<b>影響あり</b> 変換対応必要
	参考ページ	P.20	P.24	P.23	P.24

## (2) JAMAシートから後継シートへの継続性

- JAMAシートの最終版は、Ver.3.02(19年10月発行)
- 後継シート(20年4月発行)では、過去のCSVファイルを読み込むことが可能 (項目数、許容する文字種、文字数が同じ)

JAMAシート出力ファイル(CSV)

後継シート(記入帳票)



Ver.2.01～Ver.3.02

### (3) 外部リストの変化

	外部リストの内容
変化前 JAMA シート	<ul style="list-style-type: none"><li>IMDSの物質リストおよびアプリケーションコードの変化にそのまま追従</li></ul>
変化後 後継 シート	<ul style="list-style-type: none"><li>使用実績のある物質を収載</li><li>GADSLフラグやアプリケーションコード等、必要な情報は更新</li><li>ユーザから「必要」と申告があれば物質を追加する</li></ul>

従来のJAMAシートから変更はあるが  
実務上の影響はない

## (4) XML出力機能を廃止

		ユーザーへの影響
	XML形式出力機能	IMDSへのアップロード
変化前		
JAMAシート	XML形式出力機能あり	—
変化後		
後継シート	XML形式出力機能なし※	<b>影響あり</b>  形式変換のツールが必要となる

※XML出力に必要な情報はJAPIAが提供

## 2-2. 後継シートへの移行に伴う変化点

### (1) JAMAシート・IMDSを直接入力している場合

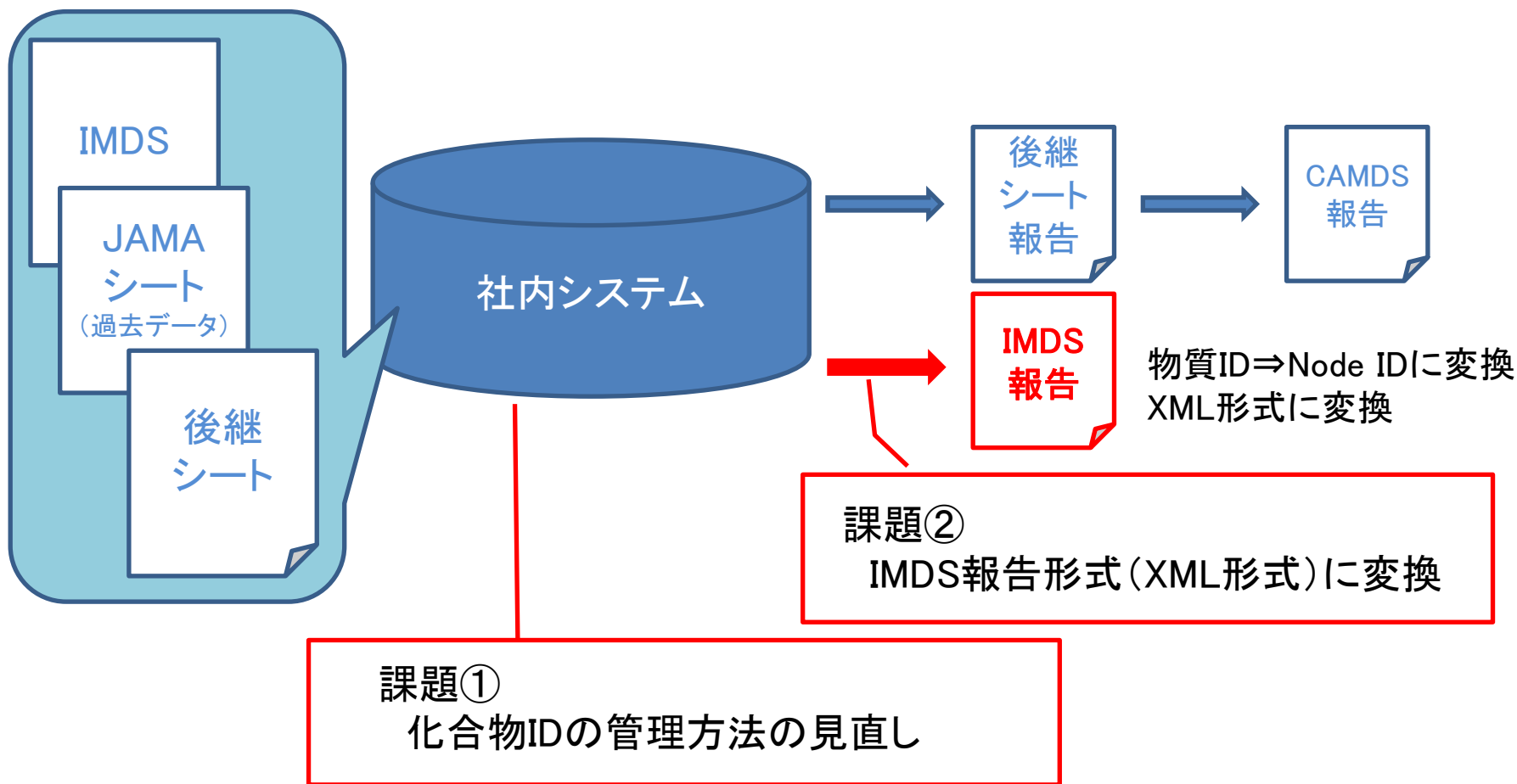
- 後継シートに直接入力 ・・・従来と変化なし
- IMDSに直接入力 ・・・従来と変化なし

ただし、仕入れ先へのツール変更の周知は必要に応じ個社で実施いただく必要があります。



## (2) JAMAシート・IMDSのMDSを社内システム管理している場合

後継シート以降は、化合物IDが変わり、XML形式出力機能がなくなります。



## 2-3. 物質調査ツールに関する注意点

今後は後継シート または IMDSを物質調査ツールとして使用します

### (1) 顧客報告時のツール

個別の交渉ができる場合を除き、顧客要求に合わせて  
IMDS、後継シート、CAMDSで報告する。

### (2) 仕入先調査時のツール

IMDSまたは後継シート(個社の考えで選択可能)

## (参考) 後継シートとIMDSの違い

		後継シート	IMDS
データ品質	メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料情報の選択ミス/不整合/入力間違いが少ない</li> <li>エラーチェック機能が厳重(作業性ではデメリットになる場合も…)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化合物と材料の組合せ不整合が少ない</li> </ul>
	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>化合物と材料の組合せ不整合が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料情報の選択ミス/不整合/入力間違いが多い</li> <li>エラーチェック機能が柔和</li> </ul>
作業性	メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力支援機能による効率な作業</li> <li>データシートのコピー可能</li> <li>ツール仕様変更の頻度が少ない</li> <li>JAMAシートを踏襲しているため仕入先教育は基本的に不要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料更新に伴う親MDSの自動更新</li> <li>IMDSでデータ管理が可能</li> <li>定期的にデータ作成の教育をDXCが各国で開催</li> </ul>
	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>OEMに報告する場合はIMDSに変換する必要がある</li> <li>1データずつ手作業で更新・報告</li> <li>自社で管理の仕組みを作る必要あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手入力によるIMDS作成が大変</li> <li>データシートのコピー禁止</li> <li>ツール仕様変更の頻度が多い ⇒IMDS仕様変更に関する情報にアンテナを高くし、自社業務への影響を判断して作業に反映させる</li> </ul>
納期遵守	メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>上流に差し戻さず編集可能 ⇒短納期も対応可能な場合あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告データに対する責任が明確</li> </ul>
	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>得意先に報告するデータの責任は全て自社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上流に差し戻して編集 ⇒長めの納期が必要</li> </ul>

## ① 後継シートを調査ツールとした場合

「2-2 後継シートへの移行に伴う変化点」で説明したとおりです

## ② IMDSを調査ツールとした場合

各社の事情によってIMDSに変更する場合は計画的に準備を進めておく必要があります

### ➤ よく報告するデータ

JAMAシートで受領したデータはIDがない

⇒ 社内システムがない企業は、何度もIMDSで報告するような汎用的な部品のIMDS IDを取得しておいたほうが作業効率が良い

### ➤ データ受領時のタイムラグ

AI契約サービスのIMDSからの自動ダウンロード機能は1日のタイムラグが発生する

⇒ 顧客納期に間に合うように各作業の対応期日を設定する

### ➤ IMDSルールに沿ったデータ作成業務

IMDS入力項目は自由度が高いため、材料分類の選択・入力のミスが多くなる懸念

⇒ どのように入力するか、受入可能なデータ品質のボーダーラインを明確にし、仕入先教育やデータチェックの仕組が必要

### ➤ 顧客報告までのリードタイム

顧客のリジェクトがあるとサプライチェーンに差し戻すためデータ修正に時間がかかる

⇒ リジェクトされないための仕掛け (Ex. 仕入先教育やデータ受入基準)

# まとめ

- 調査ツールは、後継シートとIMDSの選択ができます  
今まで説明したとおり、一部の方は社内システムや作業マニュアルを見直す必要があります  
計画的に対処準備を進めてください
- 後継シートからIMDS報告のデータ変換に必要な情報はJAPIAから提供します  
必要な場合は、JAPIA事務局へご連絡・ご相談ください

以上